

巻頭言

発刊にあたって

人間健康学部 看護学科
学部長 谷川 和子

宇部フロンティア大学「看護学ジャーナル」の第8巻目が発刊される運びとなりました。開設初年度から冊子として刊行されてきた「看護学ジャーナル」ですが、今回以降の冊子はありません。本学は平成26年3月から山口県大学共同リポジトリに参加しておりますので、今後は学術機関リポジトリを通じてインターネット上に公開されます。また、既刊の紀要も既にリポジトリで公開されております。今後も広く公開することによって、本学の研究成果が社会に貢献することを願っております。

さて、昭和27年に誕生した看護系大学は、平成元年にはわずか11校でしたが、平成27年5月1日現在で241校（文部科学省指定養成学校一覧より）と大幅に増加しています。それに伴い、看護学教育の質の確保が差し迫った課題となっています。

看護系大学の教員には、日々の教育活動に加え、研究活動を行うことが求められます。しかしながら、看護系大学の入学定員が増加するに伴い、学生の目的意識の希薄化、基礎学力の低下等の問題も増し、教員が教育活動に多くの時間を割かざるを得ない状況も起こっています。そうした中で研究を行い、その成果を発表していくということは相当の努力が必要となってきます。本学科教員も多忙の中で継続して研究活動を行っています。今年度、科学研究費等の外部資金の獲得、学術雑誌への投稿、海外での学会発表を行った教員もいます。

多くの看護系大学ができ、今後、看護教育や看護実践の質をより一層高めるために益々の研究がなされていくことと思います。研究の成果は論文として発表しない限り埋もれたものになります。成果の発表の場には多くの学術雑誌がありますが、紀要も大きな役割を果たしています。自身を成長させる場として、また、本学が地域社会に貢献する場として、今後もより一層の論文の投稿を期待しています。